

# ふじさわ子育て支援連絡会

H25.11.25 第3回交流会 10:00~12:00

参加者：14名（13団体）＋乳幼児3名



## ～交流会議事録～

### ■前半：団体発表 10:00～

※前半は、連絡会会員の2団体に活動発表をお願いしました。発表順に掲載。

※発表団体からいただいた原稿をそのまま掲載しています。

### 【ベビーず★かふえ 林さん】

※発表は当日配布の資料にもとづき補足をしながら行いました。

（資料は、この議事録 最後についています）

結婚してはじめて藤沢に来ました。1人目が生まれた時、藤沢に誰も知り合いがおらず、情報もなく困っていました。夫は仕事が忙しくて朝早く家を出て夜遅く帰ってきていたので、昼間は子どもと2人きり。市に問い合わせたり、足で歩いて子育て情報を集めて回った。当時は、まだあまりインターネットが普及していなかったため、自分の欲しい情報はネット上になかった。自分が歩いてまわって集めた情報は、他の人（自分と同じような乳幼児の親）にも役立つはず！と思い、子育ての情報サイトを0から手作りで上げた。当時はまだ、便利なホームページ作成ソフトや無料のレンタルブログも普及していなかったため、「タグ」（=HTMLタグ/Webサイトを表示させるのに必要な記述形式）を一から覚えました。

当時、市の事業で市民電子会議室（現在の名称は「こみゅっと藤沢」）というネット掲示板があり、そこで子育て情報交換のための掲示板（会議室）を立ち上げました。私は、夜泣きする赤ちゃんを抱っこしてあやしめながら、PCに張り付いていました。すぐにネット掲示板と一緒に運営してくれる人が現れて、私を含めた4人でボランティア運営しました。協力してくれた3人は、それまで全く面識がなかったのですが、インターネットの知識に優れた人たちで、私と同じように藤沢で子育てをしているお母さんでした。

インターネット上の文字の交流なのに、文字が感情を持って伝わる。その文字、文章に相手の気遣いや気持ち伝わってくるのです。その掲示板は、市民電子会議室の中で参加者数、アクセス数ともに一番になり、市民電子会議室の本の中でも紹介されました。

今は何をしているかということ、子育て支援活動をしているみなさんの活動拠点がネットでひと目でわかるような電子Mapを作成中です。スマートフォンの利用者も増えているので、子育て中の人たちがスマホ片手に、電子地図を見ながら、皆さんの活動場所に行けるといいなと思っています。

### Q&A

Q.そのネット掲示板を今は止めたのは何故ですか。

A.始めた当初は、そういった子育てのネットコミュニティまだ珍しかったと思います。その後 Mixi など使いやすいSNSが始まったので、ボランティアで自分たちがネットコミュニティを運営する必要性はなくなったと感じたこと。また市運営の掲示板で運営するのは、いろいろ難しい側面があった。

他には、自分たちの子どもがもう赤ちゃんではなくなってきたことも大きかったと思います。

今は、Facebook、Line など多様なネットコミュニケーションの選択肢があり、誰かがやらなくてもみなさんそれぞれ上手に楽しんでいると思います。

Q.一時期活動していないように感じましたが何故ですか。

A.自分は「乳幼児の親」という「当事者」ではなくなってきたので、自分の当事者意識を反映させられないと感じたから。またボランティア活動である以上、休みも必要。

当事者活動を大切にしたいという思いがある。でも、乳幼児子育て時期の親はそれなりに大変な部分もあり、当事者だけで活動していくのも難しいものがある。今、活動をしているのは、「当事者をサポートする側」としてやっていく意味はあると思ったからです。

Q.今後の活動についてどんな方向性をお考えですか。

A.とりわけ、20～30代の子育て世代のインターネット（特にスマホ）の普及率は高い。実際そういう調査結果があります。誰も知り合いの居ない場所で孤独な子育てをしている人、ネットを使い、子育ての情報収集している人は多いと思う。そういう人たちがネットを通じて、実際の「ひろば」を開いている皆さんのところへ行けるよう、つなげていきたい。それが私の願い。連絡会の活動にかかわっているのもその一環だと思っています。

Q.何人で活動していますか。

A. その時によって違います。やりたいことに合わせてその都度、協力者をつのっているのです。今やっているMap作成は、いまのところほぼ1人で作業しています。ある程度形になってきたら、協力してくれる人を増やしたい。何かの都合で自分が管理できなくなることもあると思うので、最低限、緊急時の管理をお願いしている人はいます。

Q.当時、オフ会はどれくらい集まりましたか。

A.多い時で1回に乳幼児親子 20 組前後。20 組も親子が来たら大変と思うかもしれませんが。でも皆初めて会う人ばかりなのに、本名も何も知らない同士なのに、掲示板で使っているニックネームで自己紹介したら、そこからもうみんなお互いに親しく話し始める。「場所」を用意するだけで、私は何もすることがありませんでした。オフ会の場所は、市民の家などをかりて、場所代は参加者で分け合って負担しました。

### 【感想】

これまで、自分の活動を振り返ったことはなかった。まとめてみると案外いろいろやっていたことがわかり、面白かったです。当時、電子掲示板のコミュを一緒にやってくれた「彼女たち」3 人には今でも大変感謝しています。会ったこともない人がネットを通じて協力してくれる、というのはなかなかない体験だと思います。「インターネット」を介したよくない事件もたまに報道されますが、その一方でネットを通じて、友達を作り、交流し、連絡をとりあうこともできます。「インターネット」で起こることはそれを使う人の心次第だと思います。

### 【NPO 法人 善行あいの会 土屋さん】

私たちは、平成16年から2年間、善行地区社会福祉協議会の「善行の福祉をすすめる会」の子育て支援部会として活動し、善行公民館ホールで毎月1回「子育てひろば」を実施してきました。この活動を通して、参加者とのふれあいの中で多くの子育て中の人達が、核家族や希薄になった隣近所の人間関係の状況の中で、「話を聞いてくれる人や、気軽に集える場所、同年齢の子供たちと一緒に遊べる場所が、日常的に身近に欲しい」という声をたくさん耳にしました。

この希望を何とかして叶えてあげたい、頑張って子育て支援の事業を立ち上げなければとの思いから「子育てひろば」に関わっていた仲間が発起人となり、平成18年2月に地域で子育てを応援する、出あい・ふれあい・支えあいの「善行あいの会」を設立しました。私たちはまず事業を始めるには、場所、人、資金が不可欠ということで、場所探しと並行して市の児童福祉課や福祉推進課へ出向き、藤沢市の子育て支援事業への施策・助成金等の取り組みについて聞いてきましたが期待できるものではありませんでした。

場所は商店街の空き店舗が見つかり、発起人の結束は固かったのですが、私たちの資金力では何かの助成を受けなければこの事業は立ち上げることも続けていくことも出来ません。そんな時に「商店街空き店舗活用事業」のことで知りました。

2年間、家賃補助をしていただき、この間に実績を積み、事業が安定すれば、藤沢市の「次世代育成支援計画」の子育て支援拠点事業に立候補出来ます。お陰様で、善行駅前新栄会が市と県に申請してくださり、藤沢市40%、神奈川県30%の家賃補助が受けられることになり、私たちの事業は1歩を踏み出すことができました。

平成18年4月25日、善行駅近くに「子育てサロンあいうえお」がオープンしました。

その後2年3ヶ月、「地域で子育てを応援しよう」と住民に賛助を呼びかけ、全員無償のボランティアで厳しい状況の中を無我夢中で走り続け、平成20年7月から藤沢市より、地域子育て支援拠点事業のひろば型の委託を受け「善行つどいの広場」となりました。

### ◆地域子育て支援拠点事業「ひろば型」とは？

常設のひろばを開設し、子育て親子が気軽に集いうち解け合い、相互に交流を図る場を提供するもの

### ◆地域子育て支援拠点事業「ひろば型」開設の条件

- ・ひろばのスペースは、概ね10組の子育て親子が1度に利用しても差し支えない程度以上の広さを有すること
- ・授乳コーナー・流し台・ベビーベッド・遊具その他、乳幼児を連れて利用しても支障がない設備を有すること
- ・原則として週3日以上、かつ1日5時間以上開設
  - ※「善行つどいの広場」・・・週5日、1日6時間
- ・子育てアドバイザー2名以上配置すること

※「善行つどいの広場」・・1日3名（総数21名 H25年11月現在）

#### ◆基本事業

- ①親子の交流の場の提供と交流の促進
- ②子育てに関する相談・援助
- ③地域の子育て関連情報の提供
- ④子育て・子育て支援に関する講習等の開催
  - ・ハイハイ・ヨチヨチの日（1歳未満の赤ちゃんとママの集い）
  - ・誕生会（カードを送って、みんなで祝いします）
  - ・おひざの上のお話し会（地域の読み聞かせのグループ）
  - ・講習会（食育・防災等の講座や育児相談の開催）

#### ◆その他の事業（地域支援等）

- ①リサイクルショップ
- ②季節のイベント
  - ・ひな祭り・敬老会（隣の高齢者施設わいわい善行との交流）・七夕まつり
  - ・クリスマス会（善行公民館）
  - ・善行駅前新栄会の夏祭りに参加・協力
  - ・野外活動 お花見・秋の遠足（みその） 春の遠足（日大バラ園）
- ③地域との交流
  - ・わいわい善行
  - ・善行駅前新栄会
  - ・読み聞かせのグループ（ららら♪ぶっく）
  - ・みその子どもの家・ベビーホーム
  - ・善行中学校（家庭科の交流授業 赤ちゃんの抱っこ体験）
- ④子育て応援メッセ in ふじさわに参加・協力  
善行発！子育て応援メッセに参加・協力（第4回共催）

「子育てサロンあいうえお」開設以来、子育て中の親子が毎日ほっと出来る居場所を求めて通ってきます。最近では1歳前後の乳児が多く、1日の利用者が30組60人を超える事もあります。開所当時赤ちゃんだった子どもたちが小学生になり、更に第2子、第3子の妊娠出産の嬉しい報告や、赤ちゃんを連れての来所があり、今ではなくてはならない子育て支援の拠点、親子の居場所になっています。現在サロンのアドバイザーをしてきている元利用者も居り、私達の事業の必要性和継続を強く感じます。次世代を育成し、この事業を引き継いでいくためにも組織作りが必要と考え、昨年6月に「NPO 法人善行あいの会」を設立しました。

これからも地域の中で、子育てに悩み苦しんでいる親子がひとりもいなくなるよう、私たちの事業を知っていただき、通ってきてもらえるように声かけをして、ずっと子育て中の親子を見守って行きたいと思えます。

#### ◎質疑応答

##### ○善行中学校との交流授業

メッセの実行委員会で蒲生先生と出会い、子育て支援活動を通してつながりが出来、縁あって、平成23年から中学生と赤ちゃん和妈妈の交流学习が始まりました。

1校時の交流授業ですが、親子で学校に出向き、ふれあいの楽しさや喜びを味わってもらい、ママたちから子育ての楽しさや苦労を聞き、乳幼児を身近な存在と受け止め、生命の尊さを理解し、周りの人たちに感謝の気持ちを持つことが出来るように、赤ちゃんの抱っこ体験をしています。

平成23年 1年生 4クラス

平成24年 3年生 4クラス

平成25年 3年生 4クラス

- ・ほとんどの生徒が赤ちゃんを抱っこした経験がなく、おそろおそろの体験でしたが、「可愛かった」「一緒に遊んで嬉しかった」「泣かれるのが嫌だったけれど、赤ちゃんは話せないから泣きながらママに知らせているのだと知りました」「ママは大変だなと思いました」「子育て頑張ってください」等の感想をいただきました。

- ・短時間の交流学习でしたが、親子にとっても貴重な体験でした。

今後も続けていきたい事業です。

##### ○商店街や地域との関わり

商店会の会員になり、2～3年目は役員として積極的に商店会の運営や事業に参加、協力してきました。商店会もチラシやポスターを貼ったり、利用者さんに気軽に声を掛け、ずっと見守ってくれてい

ます。8月の県の子育て支援月間では新栄会の夏祭りに模擬店を出したり、休憩所としてサロンを開放して、親子の参加を呼び掛けています。最近は善行駅周辺にベビーカーや親子連れが多く見かけられるようになりました。

「善行あいの会」は①豊かな未来を育む子育て支援 ②心と身体の健康づくり  
③心豊かなふれあいづくり ④安心・安全で快適なまちづくり ⑤活気あるまちづくりを理念に掲げ、地域の子育て支援の拠点として活動しています。

### ■後半：グループ交流 11:00～

\*\*\*テーマ\*\*\*

～今の自分の活動（子育て支援活動）を  
さらに良くするためにしていることはなんですか？～

スタッフ間のコミュニケーションをはかる

ワード・エクセルなどの知識をつける、勉強会に参加する、当事者の意見を聞く など…。

みなさんが、日々の活動の中で工夫していることなどありましたら教えてください。

※2人以上で来られている団体の方は、別々のグループに分かれていただきました。

### ◆A グループ

NPO 法人 シニアライフセラピー

- ・子育て支援研究会等に所属して、参加。
- ・子育て支援の活動は、子育て中のボランティアが中心（星の子ロッジは20人）。
- ・若い20代のスタッフが育休中にどれだけ子育て支援活動に関わるかが鍵。

でんでんむし

- ・親が当番で保育に入っている。救急法、防災などの研修を受講。
- ・月1回、江ノ島女性センター（保育付）で会議を開く。各担当者が藤沢の子育て支援連絡会や鎌倉市の子育て懇談会などに出席し、内容を全体に報告している。

善行あいの会

- ・ケーススタディや勉強会、役員会、運営委員会を開いている。
- ・防災や発達の勉強会など、外部の講習会に積極的に参加するように促している。
- ・会を担う若い世代を育てたいので、保育士免許の取得や、ファミリーサポートに登録して、研修を受けることを薦めている。

地域魅力

- ・子育てネットふじさわ、来年リニューアルする。メルマガが溢れている中、見たくなるようなデザインかどうかによって閲覧数は変わる。行政と民間の情報の両方が載っているサイトは少ない。
- ・FBとのリンクが課題。

ゆめこびと

- ・学習会、講座等に参加してスキルアップ
- ・多種多様な親育ち・子育て支援プログラムの学習

\*\*\*\*\*

## ◆Bグループ

参加者：善行あいの会杉山さん・でんでんむし木村さん・エナジーフィールド宝宮さん・湘南おっぱい育児の会渡邊さん・星の子ロッジ亀の子ロッジ鈴木  
「活動をさらに良くするためにしていること」

### でんでんむしの活動

- ・過去に活動拠点のご近所さんに挨拶をして回った
  - ・活動拠点に通う時には、道で出会う近隣の方に挨拶する
  - ・活動している畑の地主さんなどに手作りお菓子を用意して年に1度、挨拶にうかがう。
  - ・活動拠点近くの公園清掃(鎌倉市から助成金有)
  - ・でんでんむしの活動が分かる冊子を作成し、小児科や児童館などに配布
  - ・活動拠点のある鎌倉広町の森市民協議会に団体だけではなく、個人でも会員になる。
  - ・市役所や病院などの機関に協力してもらう。
- ☆挨拶をしたことにより、近隣の方にでんでんむしの存在や活動を知ってもらえた。また、近隣の方がどのように思っていたかを知ることができた。  
気軽に挨拶以外の話をしてもらえたりすることも増えた。  
☆公園清掃には上のクラス(年中・年長)が参加することもあり。日頃お世話になっている地域への感謝につながる?とされている。  
☆協議会に参加することで横のつながりができ、子らの活動が広がるとともに人脈も広がった。  
☆病院や消防署の救命講習を受けたり、市役所やNPOセンターの方々に問題を相談することで、新しい展開ができたこともある。
- ・後は単純に、何かのイベントに参加したり、手伝いに行った時には「でんでんむしです!」とアピールしていたこともある。

- ・活動を長く続けるためには、モチベーションを維持することが大切。活動することで、誰かの役に立つこと、助けられること、ができるのはモチベーションを保つ理由の1つになっている。また、活動を自分が楽しんで行っていることも大きな要因となっている。
- ・子育て中で時間があつというまに過ぎてしまうが、時々気持ちを確認しながら何のためにしているのだろうか考える事は、行動の原点になるので大事であると感じることがあった。
- ・連絡会や、メッセなどの色々なイベントに参加することで、色々な方々に自分の活動を知ってもらうことや、交流の中で知恵やアドバイスを頂くことで、より良い活動へ改善するきっかけになる。
- ・自分ひとりでは活動できないので、メッセに参加する事や、子育ての先輩にあたる地域の方などに頼ることも結果的に、地域の子育て活動に還元することができた。
- ・人材の育成を行っている。

\*\*\*\*\*

## ◆Cグループ

※ 乳幼児親子のための場づくり～「ひろば」型の活動をしている団体が多かったので「活動がマンネリ化しないような工夫」について意見がでました。

湘南ふじさわ commons (顔晴るひろば)・野上…参加者として来ている方の中から声かけして、スタッフになってもらっている。子育て当事者としてのアイデアを生かした企画を出してもらうことで活動がマンネリ化しないようになっている。スタッフになってすぐ、なんでもお任せしてしまうのではなく、出してもらった企画に、既存のスタッフがお手伝い、後押しをすることでうまくいくようにしている。

湘南どんぐりひろば・榊原…月1回の活動。ボランティアベースの活動だと、(お金のかかる)専門的な研修などは難しい。「ひろば」に来てくれる人に飽きられない工夫はしたいと思っている。新しいおもちゃを置いたり、英語の絵本の読み聞かせなどもしている。(子育て支援ボランティアをする人は)子どもと触れ合いたい、子どもと触れ合うことだけで満足する人もいる。それはそれでよいと思うが、スタッフに外にも目が向けられる人がいたら、善行メッセの実行委員会や連絡会の交流会など他の団体とのコミュニケーションが取れるところへ送り出している。

善行あいの会…有料のサロンとして運営していた時は利用者が固定していたのですが、市の事業として無料で利用できるようになったら利用者の入れ替わりが早くなりました。(乳幼児の成長は早いので、お子さんの)外あそびが中心になると、サロンにはだんだん来なくなります。季節ごとの催しは、だいたい毎年同じなのですが。スタッフは若い方もいますが、短時間のシフトが多く、運営の中心はどうしても以前からいる古いスタッフになってしまいます。ネットの情報はたくさんあって、親がスマホを見ているけれど、

子どもを見ていない。子どもを見守ってられないお母さんがいる。これでいいのかしらと思うことがあります。

ベビーず★かふえ・林…「ひろば」型の活動は、常に一定数以上のスタッフの確保が必要。ボランティアだとしても、短時間のお手伝いスタッフと中心になって動く固定メンバーをうまく回していかないといけない。お金をもらって働くのであれば、多少納得できないことでも言われたらやる。けれど、ボランティアとしてやる時、納得できないことはボランティアできないから、そこが難しいと思う。スタッフ間のコミュニケーションなどはかり、（「ひろば」運営のシフトを）うまく回していくことが大事。

今は、スマホなどで若いお母さんたちがコミュニケーション取りやすくなっている。インターネットが広まり始めた頃、ネットばかりやると本、文字を読まなくなるかと危惧する人がいた。実際はそうではなくて、スマホの文字を延々読んでいる人もいる。今はライトな関係のコミュニケーションが主流のように思う。私がしたいのは、スマホを見ている親子をネットからの情報を通して、リアルな場作りをしている皆さんのいる「場所」に繋げていくこと。活動は、企画ごとに一緒にやってくれる人を変えていくとよいと思う（それいいね！と思った人同士で盛り上がりやるとうまくいくことが多いし、マンネリ化しない）。IT知識があり子育て支援に理解のある人はそれなりにいるが、そういうITに詳しい人はたいてい忙しい仕事をしている。そういう人を長期的にボランティアで確保するのは難しいと思うときがある。

### ■交流会終了後の感想・意見

※ それぞれ、紙に書いていただいたり、後日メールで感想をいただきました。  
記名のあるものは、そのままお名前を掲載させていただきました。

- ・ 子育て当事者として活動しているため視野がせまくなりがちですが、こういう場があることで大変勉強になります。ありがとうございました。でんでんむし鳥崎
- ・ ありがとうございました。もっとさまざまな団体や一般の方の参加があるとよいのかなと思いました。なかなか難しいですね。目標がしっかりした形でうまくできるといいですね。今後ともよろしく願いいたします。亀吉（NPO 法人シニアライフセラピー）鈴木しげ
- ・ 各活動団体の創設時期の貴重な話がきけてよかったです。地域魅力大友
- ・ あいの会の活動の流れをお聞きして、今後の活動のモデルとして今後もいろいろ相談させていただきたいと思いました。地域の子育て中のファミリーだけでなく、商店街や、地域での役員会などに積極的に交流し、お互いにサポートし合うというのはとても大事な教えてもらいました。ありがとうございました。星の子ロッジ鈴木くみ

#### ○杉山 貴代子

「子育てサロンあいうえお」に関わってまだ 2 ヶ月程で、何もわからなかったのが、交流会でいろいろなパターンがあることを知り、代表者の方々の苦労も知り

驚きと感銘を受けました。

ネットで広場を立ち上げている方の「文字が感情を持って動き出す」との発言に、

ネットの活動に不審を抱いていた私には新発見でした。

皆さん、意欲的だったので私も頑張らなくてはと思いました。

#### ○狩野 宏子

企画を立てる時、その当事者に考えてもらうというグループがありました。

月1回の集いのグループは、曜日は決めてあるが、場所やスタッフによっては決まらないこともあり、苦労しているとのこと。

私達のグループも、次の世代の人達が企画を考えて欲しいと思いました。

#### ○土屋 啓子

今回、会の活動の発表の場をいただき、ありがとうございました。

10分間の持ち時間で思ったような発表が出来ず、皆さんにうまく伝わったか心配ですが、お陰様で、初心に戻って会の立ち上げの頃の思いを振り返り、もっと頑張らなければと意を強くすることが出来ました。

人と人との出会いやつながりで、新しい事業が生まれたり、他のグループの活動を聞き、参考にしたり、この会は同じ志を持って活動している仲間の交流ですから、たくさんのヒントや元気をもらえます。

もっともっと皆さんの意見をお聞きしたかったのですが、時間がなくて残念でした。役員の皆様、ご苦労様です。これからもよろしく願いいたします。

◆出欠票にあった意見等◆

- ・ 11/15金曜日 湘南おっばい育児の会でコラボします。「ふじさわ子育て支援連絡会」交流会の場で親しくさせていただいた結果です。楽しみに準備しています。
- ・ 参加できず残念です！！
- ・ 1月の懇親会を楽しみにしています。

----- 最後までお読みくださってありがとうございました

# 1

「ベビーズ★かふえ」は、2000 年（平成 12 年）に生まれました。

## ★2000 年

- 6月：子育て情報サイト「ベビーズ★かふえ」を開設（2000～2006 年）
- 10月：藤沢市市民電子会議室（ネット上の掲示板）に  
子育て情報コミュニティ「ベビーズ★かふえ」を開設（2000～2006 年）
- タウンニュース藤沢版にて紹介される。

## ★2001 年

- 6月：レディオ湘南「Daytime Scramble」出演
- レディオ湘南の番組内で「ベビーズ★かふえ」のコーナーができた。  
（週一回、担当宮川浩子さん）
- この頃から「ベビーズ★かふえ」の利用者が直接会って交流する「オフ会」が  
さかんに開催されるようになった。  
藤沢市域に住む乳幼児親子、プレママが多く参加した。

## ★2004 年

- 「e デモクラシーへの挑戦—藤沢市市民電子会議室の歩み」  
にて、紹介される。この時期には、市民電子会議室で最も多い  
アクセス数と参加者数となっていた。

## ★2010 年

- 「からふる♡ふれんど」WEB サイト構築支援

## ★2012 年

- スマホなどから最寄の子育て支援団体、サークルを一覧  
出来るよう Google マップによる「ふじさわ子育て Map」の作成
- NPO 法人湘南市民メディアネットワークによる、  
子育てCM動画作成の企画支援。

## ★2013 年

- Facebook「ふじさわ子育て」、Youtube で「ふじさわ子育て」  
チャンネル開設。



# 2

やりたいことは何ですか？

子育て中の人だけでなく多くの方が、有用な情報や地域のコミュニティに  
つながって行けたら良い。そのためのお手伝い。  
目指すのは、口コミまで含めたメディアミックス。

# 3

林さんのことをメッセで見かけましたが？

- 第 4,8,9 回子育て応援メッセ実行委員。
- 第 9 回メッセ副実行委員長。
- 第 8,9 回メッセチラシ企画手配。
- 第 8 回メッセ Ustream 中継企画手配  
（中継：フジサワネット/本白水さん）
- メッセ冊子地図作成…とか、やってみました。→

